

令和5年度 和歌山市立河北中学校 学校運営計画書（スクールプラン）

校長名 戸川定昭

作成日

令和5年5月31日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

【学 校 教 育 目 標】

正しく判断し、ねばり強く実践する
心豊かでたくましい生徒の育成

【めざす生徒像】

理由をつけて意見が言える生徒
自ら心をみがき体を鍛えることのできる生徒
最後まであきらめずチャレンジする生徒

前年度の学校評価

- 目標は概ね適切である。
- 道徳教育を更に充実させる必要がある。
- 一人一台のタブレットを活用した授業づくりを充実させる必要がある。

保護者・地域の願い

- 子供の学力を伸ばしてほしい。
- 明るく楽しい学校であってほしい。
- 相手の気持ちがわかる人に育ってほしい。

生徒の実態

- 概ね生徒は落ち着いていて、挨拶ができる。
- 約70%が部活動に取り組んでいる。
- 集中力が続かない生徒も見られる。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎基本の定着
- ◎思考力、判断力、表現力の向上

豊かな心の育成

- ◎道徳教育・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止・早期発見
- ◎規範意識の確立

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎保護者・地域との連携充実
- ◎校区内幼小との連携充実

具体的な取組

- 学習規律の維持
- ICT機器の活用
- 自分の考えを書いたり発表したりする機会の充実
- 家庭学習・読書活動の推進

- 道徳の授業の充実
- 学期ごとにいじめアンケートを実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 情報モラル教室の実施

- 体育科の授業の充実と授業と関連させた体育的行事の充実
- 生活習慣アンケートの実施
- 防災訓練と防災に係る授業の実施

- OHPを活用し、積極的に学校の取組を発信する。
- 河北地区子どもを育てる協議会との連携強化
- 校区内幼小と研修会、合同避難訓、授業参観等の実施

指標

- 授業がよくわかる90%
- 学力調査無回答率、全問題で国・県より低い。

- 学校が充実している90%
- いじめを許さない100%

- 体力テスト全種目、県平均を上回る。
- 規則正しい生活をしている95%

- 学校は情報発信をしている（保護者85%以上）
- 校区内幼小との連携（合同研修・授業参観等）回数5回以上

◎：特に重点的に取り組むこと